



す が お

No.48

養護老人ホーム
松楓園 情報誌



本日は敬老の日おめで
とう御座います。
今年の夏も異常な猛暑
でしたが、誰一人として
熱中症で健康を害するこ
となく、大勢の皆様がこ
うして敬老の日を迎えら
れたのは喜びに堪えませ
ん。

ただいま、今年新しく
入園された九十一歳の座
間高子様、そして卒寿を
迎えられた嶋村トシ子
様、伊藤かう様に、米寿
を迎えられた斉藤定子
様、林豊子様、の5名の
方々の表彰をさせていた
だきました。なお、松楓
園には九十歳以上の方は
他に10名いらっしゃいま
して、松楓園の最高齢

者は九十四歳の大川愛子
様です。利用者100名
の平均年齢は七十八、七
歳です。
さて、昨年の三月十一
日に発生した東日本大震
災から一年と半年が経ち
ました。いまだに何時ま
で続くのか判らない御不
自由な生活をされていま
す。
いろいろな自然災害が
地球規模で起きている中
で、幸いにも小さな被害
の一つも受けずに済んで
いる私たちは、ご苦労の
毎日を過ごされていく
方々のことを思い、平穩
な生活を送れていること
に感謝を忘れずに過ごし
たいと思っています。

なお、今年もあきる野
市主催の最大の行事であ
ります『とうろう流し』
で使用されるとうろう総
てを、松楓園の利用者の
皆様が作り、八月十一日
に秋川で流されました。
この「とうろう作り」は
今年で三十九年を迎える
松楓園の利用者の皆様に
よる社会奉仕活動です。

松楓園は平成十八年度
より、入所されている方
も介護保険を利用するこ
とが可能となり、九月一
日現在で訪問介護利用者
が12名、通所介護利用
者が4名いらっしゃいま
す。

参考までに、併設施設の
特別養護老人ホーム「和
敬園」に移動されて生活
されている方は現在12
名、特別養護老人ホーム
「コスモホーム」に移動

されて生活されている方は現在13名いらっしゃいます。

今年はロンドンオリンピックが開催され、健常者によるオリンピックでは日本は金7個、銀14個、銅17個の合計38個のメダルを獲得しました。

また、九月九日に閉幕となった、障害者の皆様のパラリンピックでは、金5個、銀5個、銅5個の合計16個のメダルを獲得する事が出来ました。特に健常者の獲得した38個のメダルは、日本にとって史上最多のメダル獲得という事で、久しぶりに明るいニュースが流れました。

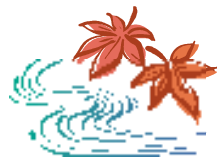
私たち松楓園職員一同は、利用者の皆様の個々の人格・意思を尊重し、職員の資質の向上や処遇の改善などを図ると共

に、自らが誇りの持てる施設作りに励んで参ります。

今後とも皆様の温かいご支援ご指導を受け賜わりたく存じます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

松楓園施設長
馬場義郎



展示コーナー



敬老週間では利用者の方々がこの一年間に制作した作品を展示させていただきました。温かみのある作品に、大勢の方が足を止めて見入って下さいました。





二十四年度 敬老祝賀会

老人福祉施設である松楓園にとって、利用者の方々の長寿と健康をお祝いする「敬老祝賀会」は特別な行事であり、9月12日に職員一同、心をこめて祝賀会を開催しました。
敬老祝賀会での利用者の方々の晴れやかな表情・姿に感動し、いつまでもお元気で、この松楓園で幸せに生活をして頂けるよう、精一杯の努力を続けていきたいと思ひます。



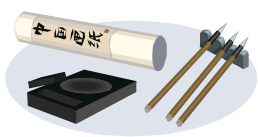


茶道クラブ…野点



敬老週間
 松楓園では《敬老週間》として、今年も利用者の方々の活動発表や展示を行い、日頃の成果を披露していただきました。

九月五日に利用者の方々への敬老をお祝いする気持ちを込めて、茶道講師の加藤先生・田中先生・お弟子さんの先生方に来園頂き、野点を開催しました。茶道クラブの利用者の方々もお茶を点て日頃の成果を披露していただきました。



書道クラブ



講師の西野先生の指導のもとに活動を行っており、書が上達することに達成感を味わうと共に、静かに筆を動かす事で心の安定にもつながっています。敬老週間では利用者の方々の心のこもった作品を掲示して披露させて頂きました。

華道クラブの方々に、敬老祝賀会会場・敬老週間の施設内を、綺麗な花々で飾って頂きました。華道講師の加藤先生・田中先生の指導を頂きながら、季節感溢れる花々が、施設内を彩り、より一層華やかな敬老祝賀会になりました。



華道クラブ



いのちの朝顔

秋多中学校の生徒さんより7月8日にお預かりした「いのちの朝顔」を大切に育て、9月14日、今年も沢山の種を付けた朝顔をお返りする事ができました。

給食表彰



当法人は、長年に渡り食事提供を通じ利用者の栄養改善を図る施設であるという評価を頂き、去る9月15日、今年度の優良特定給食施設として厚生労働大臣表彰を受けました。今後も利用者の皆様により良い食事提供が出来るよう関係各所と連携を図り日々精進して参ります。



マニキュアボランティア



訪問美容で毎週来園して頂いている「訪問美容・のりこ」さんより、敬老祝賀会を迎える利用者の方々に、今年もボランティアでマニキュアを塗らせて下さいとの申し出を頂きました。

綺麗に塗られたピカピカの指先に、利用者の方々の表情も嬉しさいっぱい笑顔が輝いていました。

利用者投稿コーナー

今回は敬老に際し、各クラブ活動のお話から松楓園での生活まで様々なお話しを頂きました。



《野点》
小林栄吉様
紳士淑女の視線を受けて茶せんを動かしながらふと思いつ出した茶道の格言一期一会といふ言葉です一生に一度だけの出会い、どの茶会も一生に一度のものと考え誠意をつくして望むべきという茶道の心得からきた熟語です。

私はまだまだ未熟で今後共皆様においしいと言われるお茶を立てる様努力いたします。



《野点》
大森正子様
松楓園に入りクラブ活動やいろんな行事に参加して二年が過ぎました。今回敬老会でお手前をすることになり(ちっと)ときどきしましたが、なんとかほっとしております。



《華道クラブ》

小野寺京子様

人生は川の流れの様だと申します。その流れは途中に松楓園様との出逢い感無量でございませう。華道クラブ活動は加藤先生田中先生にお越し頂いております。

楽しい雰囲気の中で一ヶ月に二度程、今度ほどの様なお花がおめみえするかしらと：お花は本当に心が和みます。毎日一度はお水をあげ言葉をかけ楽しんでおります。

ただひとつのために生き
ただひとつのために枯れてゆく花よ
その様に生きて
あなたは誰をも傷つけなかった

様々なお花との出逢い
今後も大切に続けたいと思っております。



川柳コーナー

前号に引き続き
利用者の皆さんが
素敵な川柳・短歌を
作って下さいました。

都構想

武蔵 634、ハルカス
ハツケヨイ



※武蔵＝東京スカイツリー

634m

（ハルカス＝大阪

あべのハルカスビル300m

杉山とめ子様

此のさくら

ながめつつも思い出す

靖国のさくら

いかに美しく

匿名希望様

行く夏を

惜しむが如く蝉しぐれ

ミンミンミンミンと

忙しげに煮く

加藤ひさ様



夜明け窓 せどの木まちに
うつ蟬の 夏をおしむか

悔なき声も

青木治世様



《ランプ》を

作って》

守屋政雄様

ランプ・シェードを作りま
した。小さな部品に爪楊枝
で糊をつけながら組み立
てて行きました。手元が狂
うと直ぐ崩れてしまうの
で大変でした。

夏の思い出と共に、
施設近隣の名所も綴って
頂いた利用者の方の投稿
をご紹介します。

《夏の思い出》

M・H様（匿名希望）

小学生の頃、叔父が長野に借
りていた、穴山の家に毎年行
かせて貰っていました。

新宿まで母に送られてお土
産を持って茅野まで行きま
した。

叔父さんの本や絵画集をよ
く見せてもらいました。裏庭
から霧ヶ峰も写生しました。
霧ヶ峰にも連れて行っても
らったと思いますが、記憶が
定かではありません。しかし
淡紫色で美しい頭状花のマ
ツムシソウが咲いていた事
はよく憶えています。



近くのお店に毎日歩いてコッ
ペパンを買いに行きました。
それがとても美味しかったで
す。今は従姉妹などの付き合
いも少ないと聞きますが、母
は姉妹仲が良かったので、津
田沼の叔母さんの家にも遊び
に行かせて貰いました。



急に松楓園に来る事になりま
したが、姉は緑が多くて良い
所だと言ってくれましたけれ
ど、最初は理解出来ませんで
した。
今年行った増戸の桜見物と五
日市の紫陽花山、弘沢の滝に
も近いので良い所に来れたの
かなと思えるようになりまし
た。



《敬老に際し》

坂巻サキ様

私は今年九二歳になり皆様の中に入れて頂き有難かったです。昭和一九年十月主人が二人の娘を残して戦死。その後本当に大変でした。

私が思いますには松楓園に入れて頂きあれこれ生きる張り合いがいっぱい有った事が私の生きがいになったと今にして思います。庭に咲いている花、手工芸、皆さんと一緒に話しながら大笑いしたりあれこれ不自由な所が出て来た私を忘れさせてくれます。

とうろろう作り今年は駄目かとあきらめて居ましたが

今明るく生活出来あれこれ楽しんであります。皆様の皆様のおかげだと感謝する日々です。

《一階写真

展示に際し》

加藤利彦様

久し振りに日本の知りえなかった事がたくさん知ることができました。戦中戦後と色々なことがありました。自分も二回戦火にあいました。いろいろなことが走馬灯の様に思い出されます。

《書道への思い》

永田志げ子様

最初は何となくザワザワと一人二人と次々に集まります教室は緊張した空気、そして私もその中で墨を付け筆をとり、文字との出会い。その中一生涯懸命書いて居ますが、その間の時間といいましよるか自分を忘れ文字との出会いとの喜びとまでも幸せとうまく表現出来ない、その短い時間で本当に良かったと心から感謝。

初心に戻り六十年以上の空白の中で先生と一緒に教室で八十才の手習いをさせて頂いてます。下手乍らもずっとやらせて頂きたいとお願い致します。



【編集後記】

いつまで続くのか分からない残暑にうんざりする日々も過ぎ去り、園庭の木々も少しずつ色づき、爽やかな秋風が吹いています。

今号は「敬老特集」として発行させて頂きましたが、利用者の方々が生き生きとした表情で元気に生活されている様子がお伝え出来れば幸いです。

広報誌編集委員会

発行者 社会福祉法人松楓会
 養護老人ホーム松楓園
 住所 東京都 あきる野市
 菅生1159番地
 電話 042-558-7010 (代)
<http://www.showhoen.jp/>